令和　8年　11月　4日

高知県国際観光課長
　　谷内　康洋　　様

田中恵美子

業務完了報告書

「高知県よさこい海外普及支援事業」における駒ヶ根青年海外協力隊訓練所派遣について、下記のとおり業務の完了を報告します。

記

１　派遣行程及び指導実績　　別紙1及び別添写真のとおり

２　参加者名簿　　別紙2のとおり

３　完了年月日　　令和8年11月4日

【別紙1】

タイムスケジュール

令和8年11月4日（水曜日）

18:00　　駒ヶ根青年海外協力隊訓練所　到着
18:00～19:00　打合せ及び会場セッティング
19:00～20:30　駒ヶ根青年海外協力隊訓練所において指導

【参加者人数】

JICA駒ケ根訓練所 訓練生37名

【指導内容】

1. 自己紹介（10分）
2. 海外でのよさこいを通じた文化交流（10分）
3. よさこいの歴史や基本の紹介（10分）
4. 「正調よさこい鳴子踊り」のレクチャー（60分）

20:30～21:00　撤収・片付け
21:00　　駒ヶ根青年海外協力隊訓練所　出発

1. プレゼンテーションによる自己紹介・よさこい紹介（約**20**分）



今回の参加者の中には、よさこいを初めて知る方や初めて体験する方が多くいらっしゃいましたが、よさこいの経験者や高知県出身の方も数名いらっしゃいました。その方々にもご協力いただきながら、講座を進めることができました。

まずは私自身の自己紹介とともに、カナダを拠点に20年以上にわたり、よさこいを通じた国際交流や日本文化の普及活動を続けてきた経験を交えながら、スライドを使ってよさこいの歴史や魅力について紹介しました。

今回の講座で私が特に大切にしたかったのは、単によさこいの踊りを覚えていただくことではなく、これからJICA海外協力隊の隊員として世界各国で活動される皆さんに、よさこいを現地の方々との交流やコミュニケーションの手段として活用していただくことでした。

そのため、「世界に広がるよさこい」と「人と人を繋ぐよさこい」を大きなテーマとし、よさこいの歴史や文化的な背景に加え、海外での活動を通じて実際に経験してきた国際交流についてお話ししました。

ことがあっても、よさこいを通じて多くの方々と出会い、交流を深めることができましについてもお伝えしました。

海外で生活する中で、よさこいは私にとって単なる踊りではなく、人とのつながりを生み、新しい世界を広げてくれる大切な存在となりました。言葉や文化の違いに戸惑うをつなぐ力があること、そして鳴子と音楽があれば、踊りの経験がない方でも一緒にた。よさこいがあったからこそ得られた経験や出会いが数多くあり、私自身の人生をより豊かで彩り深いものにしてくれたと感じています。

こうした実体験を交えながら、よさこいには年齢や国籍、言葉の違いを越えて人と人

楽しみ、心を通わせることができるという魅力をお伝えしました。
また、私自身がなぜ高知のよさこいに魅了され、20年以上も活動を続けているのか特に、これから海外へ赴任される皆さんには、今回学んだよさこいを赴任先でどのように活用できるのか、現地の方々と交流するきっかけとして、どのように取り入れられるのかを考えていただきたいという思いがありました。

よさこいの振り付けを覚えることだけが目的ではなく、よさこいという日本文化が持つ歴史や、人々をつなぐ魅力を知っていただき、その可能性を感じてもらうことを大切にしました。

その上で、実際に鳴子を手に取り、音楽に合わせて体を動かすワークショップへとつなげることで、よさこいの楽しさだけでなく、人と人が自然につながる喜びを体験していただけるよう心がけました。

2. 正調よさこい鳴子踊りのレクチャー（約**60**分）





今回の実技指導は私一人で担当しましたが、参加者の中に高知県出身の方やよさこい経験者の方がいらっしゃったため、その方々にもご協力いただきながら進めました。

まずは鳴子の持ち方や鳴らし方など、基本的な使い方から説明しました。その後、グループに分かれ、高知県出身の方やよさこい経験者の方にもサポートしていただきながら、参加者の皆さんに鳴子の扱い方を練習していただきました。

続いて、私が中心となって正調よさこい鳴子踊りの振り付けを指導しました。初めてよさこいを踊る方も多かったため、一つひとつの動きを確認しながら、できるだけわかりやすく、楽しく覚えていただけるよう心がけました。

振り入れが終わった後は、全員で音楽に合わせて踊るだけでなく、参加者を2つのグループに分け、お互いの踊りを披露し合う時間を設けました。

その際に大切にしたのは、踊っている人だけでなく、見ている人も一緒に楽しみ、その場を盛り上げることです。ただ踊りを見るのではなく、音楽に合わせて手拍子をしたり、掛け声をかけたりすることで、全員が参加できる雰囲気づくりを意識しました。

よさこいの魅力は、踊る人だけでなく、周りで応援する人も一緒になって楽しめることだと思っています。実際に、お互いの踊りを応援し合う中で、会場には自然と笑顔が広がり、参加者同士の一体感も高まっていきました。

最後には、全員で大きな輪をつくり、正調よさこい鳴子踊りを踊りました。お互いの顔を見ながら、鳴子を鳴らし、掛け声を出して踊ることで、会場全体が一つになったような時間を共有することができました。

【派遣事業を終えて】



今回、これからJICA海外協力隊の隊員として世界各国へ旅立たれる皆さんに、よさこいを通じてエールを送る機会をいただけたことを、心から嬉しく思っています。

今回の講座で私が特に大切にしたかったのは、単によさこいの踊りを覚えていただくことではなく、長い派遣前訓練を共に過ごしてこられた仲間との絆を、さらに深める時間にしていただくことでした。

これから皆さんは、それぞれ異なる国へと旅立ち、新しい環境の中で活動されます。今回集まった仲間全員が、同じ場所で鳴子を手にし、一つの輪になって踊る機会は、もしかすると二度とないかもしれません。だからこそ、このかけがえのない時間を大切にし、いつか困難に直面した時にも、今日一緒に踊った仲間の笑顔や鳴子の音色を思い出し、それが少しでも励みになってくれたらという思いをお伝えしました。

私自身、20年以上にわたり海外で生活する中で、言葉や文化、価値観の違いに戸惑い、さまざまな困難を経験してきました。そんな時、何度も私を支え、前に進む力を与えてくれたのが、よさこいでした。
よさこいを通じて世界中の人々と出会い、言葉や国籍を越えて心を通わせることができました。日本から遠く離れた場所で生活する中で、自分の国の文化に誇りを持ち、それを誰かと分かち合えることが、どれほど大きな支えになるのかを実感してきました。

これから海外へ赴任される皆さんにも、それぞれが大切にしている日本の文化や魅力を、ぜひ現地の方々に伝えていただきたいと思っています。それは必ずしもよさこいである必要はありませんが、今回の体験がそのきっかけの一つになれば、これほど嬉しいことはありません。

海外での生活や活動は、決して楽しいことばかりではないと思います。思うようにいかない時もあるかもしれませんが、自分自身を信じ、簡単に諦めずに前へ進んでほしいと思っています。ただ、決して無理をしすぎず、時には立ち止まり、自分を大切にすることも忘れないでほしいということをお伝えしました。

そして、よさこいが皆さんにとって、現地の方々とのコミュニケーションのきっかけとなり、文化や言葉の違いを越えて心をつなぐ手段の一つになってくれたらと願っていま

す。

講座の最後に、こうした私自身の海外生活での経験や思いをお話しした際には、涙を流される方もいらっしゃり、皆さんが真剣に耳を傾けてくださったことがとても印象に残っています。

また、講座終了後には多くの方々から「よさこいが本当に楽しかった」「赴任先でもぜひやってみたい」という嬉しいお言葉をいただきました。さらに、「海外生活についてのお話を聞けたことが、とても励みになりました」と伝えてくださる方もいらっしゃり、今回お伝えしたかった思いが少しでも皆さんの心に届いたことを、大変嬉しく感じました。

20年以上海外で生活している私にとって、海外で暮らすことは、いつの間にか日常の一部となっていました。しかし、これから希望と不安を胸に世界へ旅立とうとしている皆さんとの交流を通じて、私自身も海外生活を始めた頃の気持ちを思い出し、多くの勇気と元気をいただきました。

今回の講座は、私が皆さんによさこいをお伝えするだけでなく、私自身にとっても大変貴重で、心に残る経験となりました。

最後に全員で輪になり、笑顔で鳴子を鳴らしながら踊った光景は、今でも心に残っています。その姿を見て、私が20年以上にわたり海外でよさこいを伝え続けてきた理由を、改めて実感しました。

高知県で生まれたよさこいが、今では日本国内だけでなく世界中へと広がり、多くの人々をつないでいることを、私は心から誇りに思っています。

私自身、よさこいに出会えたことで人生が大きく変わり、数えきれないほどの素晴らしいご縁に恵まれました。そして今回、そのよさこいを通じて、これから世界へ羽ばたく皆さんの新たな一歩を応援できたことは、何よりも嬉しいことでした。

今回の講座で生まれたよさこいの輪が、皆さんとともに世界各国へ広がり、それぞれの赴任先で新しい出会いや笑顔につながっていくことを、心から願っています。

最後になりますが、このような貴重な機会をいただき、よさこいの魅力をお伝えする場を設けてくださった高知県観光振興スポーツ部国際観光課の皆様、そして講座の実施にご尽力くださった駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の皆様に、心より感謝申し上げます。

これからも、高知県で生まれたよさこいの素晴らしさを世界へ伝え、よさこいを通じて日本と世界をつなぐ活動を続けてまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。

【別紙2】　　参加者名簿

氏名	役割	内容
田中恵美子	よさこいマイスター	正調よさこい指導